

# 各常任委員会行政視察報告

5月の中旬に、総務、民生文教、建設産業の3常任委員会が、それぞれ行政視察を行ってまいりました。各常任委員会の報告は以下のとおりです。

## 総務常任委員会

5月10日～12日（所管事項調査）

### 一 鳥根県安来市

#### 「やすぎぐらし（移住定住）について」

安来市の人口は、令和5年3月末時点で36,138人となり、昭和30年のピーク時の54,889人と比較すると約34・2%減少している。急速な人口減少が進む中、やすぎぐらしサポートセンターが核となり、ライフステージに合わせた支援（進学・就職・子育て・空き家バンクの活用及び改修補助・結婚等）を実施し、近年移住に関する窓口相談者数が増えている。また、移住・定住に関する情報発信として、移住ガイド「やすぎぐらし」を発行している。

### 二 鳥取県西伯郡大山町

#### 「大山町未来につながる移住定住助成事業について」 「消防及び防災について」

町外在住の方が町内に新築住宅を取得した場合、その費

用の一部を支援することで移住促進を図ってきたが、令和5年度から移住者に限らず、町民も対象とし、定住促進につなげている。

さらに、ふるさと納税や企業版ふるさと納税を財源に子育て支援事業（学校給食助成・修学旅行費助成・高等学校通学定期費用助成等）を拡充し、さらに子育ての合間に柔軟に働きたい方のために「すきま時間」事業を実施し、農作業や新聞配達などのアルバイトやパートをLINEで募集している。

また、防災に関しては、消防団の充足率や自主防災組織の組織率が伸び悩む中、現行体制の強化を図るため、役場分団を組織し、有事の際にすぐに対応できるよう工夫をしている。

### 三 鳥取県境港市

#### 「移住定住支援事業について」

土地区画整理事業により優良宅地459区画を造成し、平成11年度から9年間かけて

151区画を販売したが、平成20年度は販売実績がなく、308区画が未契約となった。このため、定期借地制度や住宅貸付制度を導入し、以降287区画が契約済みとなり、市外からの移住者が増えていく。また、移住者が定住するための施策として、創業者支援や空家活用補助の拡充により、新しいふるさとでのライフステージ支援事業を展開している。

## 民生文教常任委員会

5月17日～19日（所管事項調査）

### 一 静岡県伊東市

#### 「医療・福祉人材確保のための新生活応援事業について」

伊東市では、医療・福祉・保育分野における専門職の人材不足という課題の解決に向けて、市外からのUターン、移住者を対象に奨学金返還支援・家賃支援・子育て支援等の各種助成により、移住後の新生活を支援することで、専門職人材の確保と若年層の流入による人口増加を促している。

### 二 静岡県静岡市

#### 「歴史博物館について」

本施設は、令和5年1月にグランドオープンし、「歴史



静岡市歴史博物館にて



鳥根県安来市役所にて